

平成 27 年度 事業報告

平成 27 年度は、「みんなで作ろう安心の街」を合い言葉に、事業計画に基づき、警察をはじめ関係機関・団体等との緊密な連携のもと、地域安全活動をはじめ、幼児誘拐防止活動、県民に身近な重要犯罪の被害防止対策、少年非行防止及び健全育成活動等各事業を推進したが、その状況は次のとおりである。

第 1 会議の開催等

1 理事会

第 1 回 平成 27 年 5 月 8 日（金）平成 26 年度事業報告等、職務執行状況報告

臨時会 平成 27 年 5 月 22 日（金）会長、副会長、専務理事の選定

第 2 回 平成 28 年 3 月 18 日（金）平成 28 年度事業計画・収支予算案等

2 定時総会

5 月 22 日（金）宇都宮市昭和一丁目「ニューみくら」会議室において平成 27 年度定時総会を開催し、平成 26 年度事業報告、歳入歳出決算報告及び任期満了に伴う役員の選任（案）の審議をし、それぞれ可決した。

3 関東防犯協会連絡協議会定期総会

6 月 16 日（火）埼玉県さいたま市の「ラフレさいたま」で開催され、専務理事が代理出席した。

4 全国地域安全運動中央大会

9 月 24 日（木）東京都港区の「明治記念館」で開催され、専務理事、防犯功労受賞者が出席した。

5 全国防犯協会専務理事・事務局長会議

平成 27 年 11 月 18 日（水）東京都新宿区の「ホテルグランドヒル市ヶ谷」で開催され、専務理事が出席した。

第 2 防犯意識及び防犯諸対策向上のための啓発事業

1 啓発資料等の作成・配布及びホームページによる啓発

現在の犯罪情勢に対応した各種啓発・広報資料を作成し、地区防犯協会、自主防犯ボランティア団体、少年関係団体、警察署等を通じ、

- ・「全国地域安全運動」（毎年 10 月 11 日から 20 日までの 10 日間実施）
- ・「年末・年始地域安全運動」（年末年始特別警戒）
- ・「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」

等の機会をとらえ、これら啓発資料を配布し、防犯意識の高揚と防犯諸対策の活性化を図った。

また、より多くの県民に防犯対策情報を発信するため、リニューアルした当協会のインターネットホームページを活用し、犯罪情勢に対応した迅速な情報の発信に努めた。

【 主な広報紙（誌）、広報資料の作成、配布状況 】

○ 機関誌「ぼうはん栃木」	年5回	7, 700部
○ 地域安全安心マップ		19, 000部
○ 月刊誌「安心な街に」		4, 700部
○ 防犯ボランティア活動マニュアル		300部
○ 薬物乱用防止広報用小冊子「NO！薬物乱用」		5, 100部
○ 薬物乱用防止広報用定規		3, 000本
○ 防犯生活ガイド小冊子		1, 000部
○ 防犯広報用反射材付き手袋		3, 500双
○ 全国地域安全運動広報用リーフレット		8, 000部
○ 「」	ポスター	1, 000枚
○ 地域安全運動標語入りポスター（映画CMタイアップ）		2, 100枚
○ 高齢者対象特殊詐欺被害防止用広報チラシ		80, 000枚
○ 特殊詐欺被害防止ラジオ広報（FM栃木との共催）		12回
○ 特殊詐欺被害防止広報用リーフレット		2, 200部
○ 若者対象薬物乱用防止広報うちわ		1, 500個
○ 自動車盗難防止広報ポスター		300部
○ 自動車盗難防止用チラシ		5, 000部
○ 幼児誘拐防止チラシ（まもるごう防犯教室）		50, 000枚
○ 「」	指導用ぬりえ・めいろ	25, 000部
○ 「」	保護者資料	1, 000部
○ 誘拐防止標語入り鉛筆		6, 000本
○ 小学生向け「いかのおすし」防犯リーフレット		18, 000部

2 「地域安全県民のつどい」の開催

10月16日（金）宇都宮市野沢町のパーティとちぎ男女共同参画センターホールにおいて「第40回地域安全県民のつどい」を開催し、約400名の関係者が参加した。席上、全国防犯協会連合会表彰（金章）受賞者の紹介、防犯功労者・功労団体並びに防犯ポスター入選者等の表彰を行った後、「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに、地域に根ざした地域安全活動を積極的に推進し、安全・安心の街づくりを目指すとの地域安全宣言を満場一致で採択し閉会した。

また、当協会が設立（法人化）30周年を迎えたことから、本行事にて地区防犯協会職員等への表彰も合わせ行った。

3 防犯ボランティア地域交流会の開催

防犯ボランティア団体間の情報交換、意見交換により、一層充実したボランティア活動を展開させようと、防犯ボランティア交流会を当協会設立30周年の記念事業として、12月5日（土）宇都宮市野沢町のパーティとちぎ男女共同参画センターホールにおいて開催した。

交流会では、県内のボランティア団体から選出された5つの代表が、活動事例や今後の課題等について発表を行ったのち、参加者との質疑応答を行った。

その後、有識者による講評や講演を行い、今後の活動の示唆を得る大変有意義な交流会となった。

4 防犯ボランティア団体等の支援事業

地域における自主防犯パトロール活動を促進し、活性化するために、自主防犯パトロール団体、防犯連絡協議会、少年指導委員等に対して防犯ハンドブック、防犯グッズ等の配布や、活動資金の一部支援の他、広報資料のあっせんを行った。

5 防犯ビデオの貸し出し

県民の防犯意識の高揚と防犯ボランティア団体の積極的な活動を促進させるため、地域安全活動、児童誘拐防止、危険ドラッグ対策、振り込め詐欺防止等に関する防犯ビデオを地区防犯協会、消費生活センター、警察署等に無料で貸し出した。

第3 防犯対策の調査研究

1 犯罪に関する資料収集

当協会の各種事業を効果的に推進するため、犯罪統計、少年非行、多発する犯罪の情報、地域安全活動に関する情報を収集し、当協会のホームページや機関誌、チラシ等を通じて地区防犯協会、賛助会員等県民に広く周知した。

2 女性部による研究

当協会女性部の活動として、6月26日（金）今市事件の現場となった日光市大沢地区を訪れ、事件発生から現在までの防犯ボランティア活動の実態や今後の課題について、関係者から事情を学ぶ研修会を開催した。

また、9月2日（水）には、栃木県警察航空隊を訪れ、ヘリコプター導入の経緯や現在の活動状況について調査した。

更に、茨城、群馬県女性部との北関東三県合同研修会を開催し、各県の防犯対策に関する情報交換を行うことにより、互いの県の活動手法について調査研究した。

＊平成27年11月5日（木）～6日（金）茨城県日立市で開催

第4 防犯功労者及び防犯功労団体の表彰事業

1 栃木県防犯協会長表彰等

地域における防犯活動の意義を啓発し、県民の士気を一層高めるために、多年にわたり防犯思想の普及高揚等地域における防犯・地域安全に尽力し、犯罪の抑止に多大な功労のあった個人や団体を防犯功労者又は防犯功労団体として、当協会長と警察本部長が連名で表彰した。受賞者は、「地域安全県民のつどい」において表彰した。

また、関東防犯協会連絡協議会表彰、全国防犯協会表彰についても、審査・選考の結果、

上申した。

2 地域安全ポスターコンクールの開催

若い世代から防犯意識を高揚、定着させるため、小・中・高校生を対象とした地域安全ポスターコンクールを開催した。

作品は、窃盗・振り込め詐欺の被害防止、少年非行・薬物乱用の防止、暴力団追放などをテーマに募集した。応募作品は、各警察署単位で審査会を行い優秀作品を選考し、更に、これら優秀作品を警察本部に集め、警察本部、当協会、美術担当の専門家、マスコミ代表で審査会を行い、県の優秀作品を決定し、「地域安全県民のつどい」時に表彰を行った。

【平成27年度表彰】

1 警察庁長官、全国防犯協会連合会長表彰

9月24日（木）東京都の明治記念館において開催された「全国地域安全運動中央大会」において、県内から

防犯栄誉金章	1名
防犯栄誉銀章	2名
防犯栄誉銅章	6名
防犯功労団体	1団体

がそれぞれ表彰を受けた。

2 関東管区警察局長、関東防犯協会連絡協議会長表彰

10月16日（金）宇都宮市パルティホールにおいて開催された「第40回地域安全県民のつどい」において

防犯功労者	6名
防犯功労団体	2団体
特別功労者	1名
特別功労団体	1団体

がそれぞれ表彰を受けた。

3 栃木県警察本部長、公益社団法人栃木県防犯協会会長表彰

10月16日（金）宇都宮市パルティホールにおいて開催された「第39回地域安全県民のつどい」において

防犯功労者	30名
防犯功労団体	32団体
功労ボランティア団体	60団体
優良防犯連絡所	60箇所
優良少年指導委員	30名
防犯ポスター入選者	22名
地域安全マップ入選者	7名

がそれぞれ表彰を受けた。

第5 幼児誘拐防止巡回指導事業

全国的に幼児誘拐事件の発生が毎年危惧されるなか、この種の事件を防止するには、幼児期から誘拐犯罪に対する防犯意識を園児に直接植え付けることが大きな効果を発揮することから、当協会の専従職員が年間を通じ計画的に県内の幼稚園、保育園を対象に幼児誘拐防止巡回指導を実施した。

1 幼児誘拐防止巡回指導の実施

平成27年度中に幼稚園・保育園等223カ所において、園児・保護者等30,856人を対象に巡回指導を実施した。

2 栃木県幼稚園・保育園等防犯交通連絡協議会連合会理事会の開催

6月5日（金）警察本部において理事会を開催し、子どもの誘拐防止及び交通事故防止対策を重点に協議した。

3 幼児誘拐防止資料の配付等

- (1) 遊びながら誘拐防止意識を高める「めいろ」及び「ぬりえ」を作成し、巡回指導時に幼児に配布して活用した。（通年）
- (2) 保護者の防犯意識を高めるため、「まもろう防犯教室」（保護者用）を作成し、保護者に配布した。（通年）
- (3) 地域の防犯意識を高めるため、機関誌「ぼうはん栃木」を作成し、各警察署、関係機関団体に配布した。（通年）

【 各市町別巡回指導結果 】

市町名	実施園数	人数	市町名	実施園数	人数
宇都宮市	48	8,252	下野市	7	802
足利市	16	1,748	上三川町	3	333
栃木市	15	2,475	益子町	3	320
佐野市	13	1,279	茂木町	3	254
鹿沼市	13	1,358	市貝町	2	192
日光市	14	1,035	芳賀町	2	283
小山市	22	3,205	壬生町	6	733
真岡市	8	1,362	野木町	2	259
大田原市	7	1,388	塩谷町	1	103
矢板市	4	578	高根沢町	5	671
那須塩原市	16	2,294	那須町	4	370
さくら市	3	958	那珂川町	3	266
那須烏山市	3	338	計	223	30,856

*人数は、園児、担当職員等を含む

第6 自転車防犯対策事業

県民の身近で発生する自転車の盗難防止と盗難に遭った自転車の早期回復を図るため、「自転車の二重ロック運動」の推進と、自転車防犯登録制度の普及に努めた。

特に、当協会の自転車防犯登録業務は、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律に基づき、県公安委員会から指定を受けているもので、平成27年度は特に、事務局の体制を強化し登録業務のより一層の迅速化を図るとともに、販売店との連携強化も推進した。

第7 風俗環境浄化意識向上事業

当協会は、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（以下「風営適正化法」という。）により「風俗環境浄化協会」として栃木県公安委員会から指定を受けており、善良な風俗の保持及び風俗環境の浄化並びに青少年の健全育成を害する犯罪防止等に努めた。

1 風俗営業管理者講習

実施回数 14回（県内各会場） 受講者 349名
実施期間 平成27年9月8日～11月30日

2 風俗営業許可申請に伴う現地調査

風営適正化法に定める風俗営業許可現地調査について、県公安委員会の委託事業として年間を通じ実施した。

実施件数 135件
実施期間 平成27年4月3日～平成28年3月30日

第8 遊技機検定済証（TPSマーク）貼付事業

ぱちんこ営業店の設置する遊技機については、国家公安委員会の検定を受けた型式に属するものである必要があるが、この型式を受けた機種であることを当協会と栃木県遊技業協同組合が連携して検定・証明し、適正な遊技機に対してTPSマーク（Tochigi Passed Standard）を貼付する事業を推進した。

第9 古物商許可標識等発行取次事業

古物営業者に対する古物商許可標識及び古物商行商従業者証等のあっせんについては、平成27年度中に、次の防犯器具等を希望者にあっせんした。

- 蛍光クラックボール等 59個
- 古物商許可標識 286枚
- 古物行商従業者証 472枚

事業報告附属明細書

平成27年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。